

科名 血液内科  
 対象疾患名 再発・難治性の多発性骨髄腫  
 プロトコール名 KRd 初回

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	2	...	8	9	...	15	16	...	22	...	28
1	点滴注	メイン	5%ブドウ糖	250mL	ルートキープ	↓	↓										
2	点滴注	側管①	5%ブドウ糖	250mL	前投薬内服後 30分かけて	↓	↓										
3	点滴注	側管②	カイプロリス	20mg/m <sup>2</sup>	10分かけて	↓	↓										
			注射用水	20mL	投与開始30分～1時間 前に												
			5%ブドウ糖	50mL	前投薬を内服												
4	点滴注	メイン	5%ブドウ糖	500mL	ルートキープ 残破棄可				↓	↓		↓	↓				
5	点滴注	側管	カイプロリス	27mg/m <sup>2</sup>	10分かけて				↓	↓		↓	↓				
			注射用水	20mL	投与開始1時間～30分前に												
			5%ブドウ糖	50mL	前投薬を内服する												
	経口		レナリドミド	25mg/body								d1～d21					
	経口		デキサメサゾン	40mg/body	カイプロリス投与 4時間～30分前	↓			↓			↓					↓

★1クール=28日

～MEMO～

催吐リスク(10%以上30%未満)

- ・妊婦・妊娠の可能性のある患者には禁忌
- ・必ず10分かけて点滴静注し、急速静注や10分未満の静脈内投与は避けること。
- ・必ずレナリドミド、デキサメサゾンと併用してしようすること。

レナリドミド: day1-21投与、7日間休薬。デキサメサゾン: 40mg/bodyを day1,8,15,22 に投与。

- ・カイプロリス投与前1時間～30分前に前処置薬として、アセトアミノフェン0.5g/回、ホラミン(2)1T/回を内服すること。
- ・day2,9,16で、infusion reactionの発現リスクがある場合には、前投薬としてデキサメサゾン 4mg/回を追加することを検討する。
- ・体表面積が2.2m<sup>2</sup>を超える患者では、体表面積を2.2m<sup>2</sup>として投与量を算出。